

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆濃厚接触180万人試算、社会機能に支障 人手不足深刻に

・感染力の強いオミクロン型の新型コロナウイルスが国内で急拡大し、社会機能の維持に支障が出る懸念が高まっている。1日4万人ペースの新規感染が続くと、試算では自宅待機などを求める濃厚接触者が月内に180万人を超える。保育園の休園で保護者が欠勤し、人手が足りなくなる職場が続出する恐れもある。官民で柔軟な対応への転換を急ぐ必要がある。

◆輸出入とも過去最高 12月、車回復・原油高を反映

・財務省が20日発表した2021年12月の貿易統計速報によると輸出額は前年同月比17.5%増の7兆8814億円だった。自動車、鉄鋼のほか半導体などの電子部品の伸びが目立った。輸入は原油高の影響で41.1%伸びて8兆4637億円。輸出入ともに過去最高となった。輸出から輸入を差し引いた貿易収支は5823億円の赤字だった。赤字は5カ月連続となる。

◆製薬協会長「ドラッグラグの兆し」 欧米薬国内投入遅れ

・新薬企業などで構成する日本製薬工業協会の岡田安史会長は20日、欧米で認可を得た新薬のうち7割超が国内で未承認との調査結果を明らかにした。縮小傾向にある日本市場の優先度が下がっているためとして、「(欧米に比べて新薬投入が遅れる)ドラッグラグの兆しがある」と指摘した。欧米で認可を得た新薬の72%が国内で実用化されていないことになる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ステンレス鋼板、ニッケル系2%上昇 厨房機器向け堅調

・製造業や建設業で幅広く使うステンレス鋼板の取引価格が一段と上昇。代表品種は前月から2%高く、12カ月連続で値上がりした。厨房機器向けなどの需要が堅調に伸びており、一般流通市場でこれまでのメーカー値上げ分の転嫁が段階的に進む。生産大手の日鉄ステンレスは原料高を映し、20年6月契約分からニッケル系を累計1トン16万5千円値上げ。

◆水道スマートメーター、高齢者見守り 自治体で導入進む

・各家庭などの水道利用量が遠隔で自動的に把握できる「スマートメーター」を導入する自治体が増えている。訪問による検針をなくすことで業務負担が減るほか、高齢者宅の使用状況を家族に伝える見守りサービスとしても活用。新型コロナウイルス禍で親族間の対面機会が減る中、コミュニケーションの増加につながる効果も期待される。

◆2021年12月の住宅展示場来場者、6エリアで来場減

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団が1月18日発表した昨年12月の住宅展示場の来場者組数は、対前年同月比マイナス4.67%の19万9845組となり、今期4度目の来場減。エリア別では、北海道エリア以外の東北、関東、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄の6エリアが対前年同月比でマイナス。今期来場者累計は対前年プラス10.87%の来場増。

《 注目商品 》

■LIXIL、ハイブリッド窓「サーモスII-H」「サーモスL」

・アルミと樹脂のハイブリッド窓の主力2製品をリニューアル。縦すべり出し窓、横すべり出し窓など装飾窓を中心に大幅刷新した。オペレータハンドル仕様は断熱性と気密性を向上させたほか、快操作性と美しいデザインを両立。網戸は取り外しやすさを追求し、虫イヤネットもラインナップした。



■YKK AP、エクステリア商品「ルシアス バルコニー」から奥行4尺サイズを発売

・「ルシアス バルコニー」奥行4尺サイズを発売。ユニット型持ち出し式バルコニーとして業界初の奥行4尺へのサイズ拡充により、バルコニーのさらなる有効活用が可能、自宅で過ごす“おうち時間”を充実し、安全性と快適性を両立したアウトドアリビング空間を創出。



■パナソニックエイジフリー、入浴用品「シャワーチェアAir」「浴槽台Air」

・従来品と比較して最大約30%の軽量化を実現し、防かび・防汚加工を施した入浴用品「シャワーチェアAir」と「浴槽台Air」を発売。高齢の利用者と介助者双方の入浴時の負担を軽減するため入浴用品「ユクリアAir」シリーズを開発。

